

平成22年 死亡災害発生状況（確定）

沖縄労働局

番号	所轄署	型別	起因物別	業種別	発生時期	年齢	労働者数 (規模別)	性別	発注者別	発生状況
1	那覇	墜落、転落	通路	建設業	1月上旬	69	1～9	男	地方公	電線の引き込み作業のため、2階部分で作業を行っていた被災者が作業を終了し、1階へ降りる際、立入禁止となっているメンテナンス通路から3.7m下の床面に墜落したものの。
2	沖縄	おぼれ	水	清掃・と畜業	1月上旬	27	100～299	女	-	ダイビング案内中、船の錨が外れたため、同錨を固定するため潜水したところ、おぼれたもの。
3	那覇	分類不能	その他の仮設物、建築物、構築物等	建設業	1月中旬	62	1～9	男	民間	住宅新築工事において、浴室で型枠建て込み作業を行っていた被災者が、後頭部に鉄筋が刺さり座り込んだ状態で発見されたもの。
4	沖縄	その他	起因物なし	建設業	2月上旬	57	1～9	男	地方公	残業中に心筋梗塞を発症したものの。
5	名護	崩壊、倒壊	その他の材料	建設業	2月中旬	29	10～29	男	-	ヤードにおいて、車両積載型トラッククレーン（つり上げ荷重2.9トン）を使用して型枠材を荷台に積み込んだ後、玉掛け用具を外して荷台から降りようとしたところ、型枠材が倒れ、被災者に激突し型枠材の下敷きになったもの。
6	名護	激突され	鉄道車両	接客娯楽業	5月下旬	42	10～29	男	-	軌道上において、被災者が電気機関車と鋼製扉の間に挟まれた状態で発見されたもの。
7	那覇	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	商業	7月上旬	29	10～29	男	-	既設建築物のひさし（幅約90cm）において、エアコン室外機を点検作業中、足を踏み外して約4m下の地面に墜落したものの。
8	八重山	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	林業	8月上旬	52	30～49	男	-	山中において、下刈り作業を行っていた被災者が、倒れている状態で発見されたもの。当日の最高気温は32.4度であった。
9	那覇	おぼれ	水	接客娯楽業	9月中旬	24	50～99	男	-	事業場内の浴槽において、被災者（シュノーケルインストラクター）が、息こらえ訓練（素潜り時間を長くする訓練）中、意識不明になったもの。
10	那覇	交通事故（道路）	乗用車、バス、バイク	商業	9月下旬	77	1～9	女	-	新聞配達中に歩いて道路（公道）を横断していたところ、普通乗用車にはねられたもの。
11	宮古	交通事故（道路）	トラック	建設業	9月下旬	60	1～9	男	地方公	トラック車で道路（公道）を走行していたところ、カーブを曲がりきれずに街路樹に衝突して大破し、運転していた被災者が運転席とハンドルの間に挟まれたもの。
12	八重山	激突され	フォークリフト	その他	11月上旬	59	30～49	男	-	鉄骨屋根の補修をする作業員Aをパレット上に乗せ、これをフォークリフトで持ち上げてエンジンを停止していたところ、さらにパレットを持ち上げるために作業員Bがエンジンを始動したときに、フォークリフトが前進し、鉄骨との間に作業員Aが挟まれたもの。